

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	(有)ヘルパーステーション小川	代表者	日下部 麻子	法人・事業所の 特徴	小川の地は、自然に恵まれ、四季折々の楽しみがあり、とても穏やかな時が流れています。私達は介護する人・される人という関係ではなく、共に過ごす仲間として、互いの尊厳を守り、安心安全に住み続けられるよう努力しています。
事業所名	ひまわりの郷	管理者	石原 順子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4 人	人	1人	1人	人	14 人	人	20 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	事業所の改善計画を具体的にわかりやすい項目を挙げ、職員間で共有することで、事業所全体で達成できるよう努める。	多岐にわたる改善課題を職員みんなで共有し、改善計画を達成しようと努めた。	・課題を共有して改善に向けた行動を評価する。 ・概ね達成できていると感じると同時に意欲が伝わってくる。 ・利用者家族からの外部評価も必要ではないか。	・目標達成のため、年度終わりでなく、年度初めから職員に活動計画を共有する。 ・上期末のタイミングで中間評価を実施し、年度末達成につなげる。 ・自主的な取組みとして、利用者家族への外部評価を試行する。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	・事業所の畑で野菜、果物を栽培し、手作りの食事、おやつを楽しんで頂けるよう努める。 ・ホール内、玄関前、ウッドデッキには常に植物を飾り、心安らぐ空間づくりを心がける。 ・利用者がフロア外のテラスに出て過ごす機会を増やす。	・異常気象の影響もあり作物の収穫が減ったが、収穫物を丁寧に提供した。 ブルーベリーやキウイを収穫し、生で食したり、ジャムとしておやつに召し上がっていただき、大変喜ばれている。 ・季節の花々を屋外や卓上に飾り、安らぐ雰囲気づくりに努めている。利用者と共に花の名前を覚えたり美しさを愛でている。 ・歩行良好な利用者はテラスに出て気分転換されている。	・食べ物等から四季を感じる取り組みが良い。 ・清潔感ある環境づくりと季節を感じられる空間づくりに取り組まれていた。 ・テラスに出て外の空気や季節を感じられる機会が全ての利用者にあるとよい。 ・小規模多機能型の長所を生かし、きめ細やかな対応をしていると感じるが、反面コロナの影響で頻度等が分かっていない。 ・四季の花々はあるが全体的に玄関が暗く感じる。地域との関わりの接点として、玄関周りの環境を整えるとよい。 ・室内見学の機会を増やす必要があるのではないかな。	・外の空気に触れる機会や、外での活動を検討し取り組む。 ・ウッドデッキでの過ごし方を検討し、環境を整える。 ・キウイ棚の下での過ごし方を検討し、環境を整える。 ・地域住民が、相談・見学しやすくなるようなエントランスを検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の心配な方に対しては、地域包括支援センター、区長、民生委員等と連携し、協力できるようにしていく。	回覧板の情報を共有したり、家族とのコミュニケーション等を通じて、地域との関わりに努めている。	・運営推進会議の開催により、情報共有はできている。 ・事業所の、地域での役割を意識できている。	・コロナ以降中断していた、しあわせクラブとの交流や公民館活動を通じて、馴染みの関係づくりを行う。気軽に相談を受けられるように環境を整える。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	送迎、訪問時等に利用者の近隣関係にも目を配り、関係性の円滑化継続を支援する。	職員のご近所付き合いの情報から、支援に繋がった事案が数件あった。	・感染のリスクもあるが、地域との交流の機会をを考えてほしい。 ・送迎時等を利用して、地域の美しさや季節の移り変わり等を知らせていただくのは大変有難い。	・登録利用者、家族はもちろん、同じような悩みを抱える地域の方に手を差し伸べられるよう広報活動を行う。 ・地域の季節行事への参加、参観を実施する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	感染対策を十分図りながら、定期的に対面での運営推進会議の開催を再開する。 会議で頂いた意見等をより良い施設づくりの為に生かしていく。	二ヶ月毎の運営推進会議を再開した。会議でいただいた意見を施設運営に生かせるように努めている。 運営推進会議メンバーと情報交換の機会を増やしていきたいと考えている。	・全体的なテーマを取り上げると共に、的を絞った話し合いも効果が出るのではないかな。 ・雑談等から地域の情報や理解も生まれ、より良いサービスに繋がると思う。	・運営推進会議での意見や助言を、部会、朝会を通じ職員に共有周知し、より良い施設づくりを進めて行く。
F. 事業所の 防災・災害対策	災害時を想定した訓練から考えられる問題について具体的解決策を工夫していく。	防災訓練を毎月実施している。 訓練に参加した職員からの問題提起に対して、その改善に努めている。 夜勤、遅番の時間帯等これまで手薄だった時間帯の職員を想定した訓練を行った。	・訓練実施は評価できる。月毎の訓練内容をお便りで知らせたり、問題点が何かを知らせることも改善につながるのではないかな。 ・地域のサービス事業所として、災害時に協働できることを一緒に考えてほしい。 ・火災以外の自然災害を想定し、断水・停電といった訓練もする必要があるのではないかな。	・火災以外の自然災害を想定した各種訓練を実施する。 ・防災訓練実施の内容について「郷通信」等で周知する。 ・災害時の地域との協働について検討する。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 2月 24日(14:30 ~ 15:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	石原、菅波さ、草野三、有坂、関根

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画	送迎に関わることが少ない職員も、家族が訪れた際にこちらで過ごされている様子を伝えながら、家での様子を伺う等積極的に情報収集し、限られた時間内でも早期に良い関係性を築けるよう意図的な声掛けを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者は、特に自宅での様子をよく聴き、施設での様子をご家族に詳細に伝えることで、早期に馴染みの関係になれるよう心がけることができた。さらに、長期の利用者にも、同様に、自宅での様子を伺い職員間で共有することはもちろん、施設で過ごされている際の最近の変化について、家族に対して具体的に共有している等、おおむね良好であった。但し、緊急の利用者の場合に、受入までの情報共有の時間が限られ、現状把握や初期段階の支援が十分でないことがあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	7	1		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	9			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	8			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	6	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者に関して気になる点はお話している。 ・送迎時、家族とのコミュニケーションを大切にしている。 ・家族が訪れた際は、家での様子を伺うと同時に、必ず施設での様子を伝えている。 ・利用者一人一人に合った言葉かけを行っている。 ・新規利用者はもちろん、長期利用の利用者についても、最近の変化について具体的に伝えている。 ・送り連絡ノートで共有し、情報収集を図り、声掛け、気遣いをしている。 ・常に話しやすい環境を整え、その人だけでなく、周りの利用者とも話が広がるように心がけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・緊急利用(ショートステイ)の新規利用者の現状把握や初期段階での支援が遅れてしまうことがある。 ・連絡ノートに記載することで、各利用者の情報を共有することになっているが、細かい部分まで記載がなかったり、利用者の変化が激しい場合、共有が追いつかないことがある。 ・独居の利用者の家族とのコミュニケーションの機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
緊急の利用者については特に、抜けている情報に気付いた時点で、介護支援専門員に追加情報を求めたり、利用者家族に確認するなど積極的に働きかける。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 2月 25日(14:30 ~ 15:00)
------------------	-----	-----------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	石原、菅波さ、草野三、有坂、
--------------------------	------	----------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画

本人と家族との「～したい」の現実的な落とし所を探りながら、介護職員が本人、家族のために支援できるよう関わっていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

基本的に本人がどうしたいのかを優先して支援していくが、本人と家族の考え方や意見が異なっている場合、どのような支援を提案していくべきか正解のない難しい課題である。
本人、家族それぞれに寄り添い、本音を探りながら、今後も考え続けていかなければならない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	4	7	3		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	5	8	1		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4	8	2		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	9	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・朝のミーティング等で話し合うことができている。 ・日常の会話やADLの介護に関わった際に、利用者の思いに沿えるように努力している。 ・利用者からの要望について日々実践した内容について検討、改善しながら介護に取り組んでいる。 ・家族の意見ではなく、本人がどうしたいのかを優先して支援している。 ・利用者との関りを多く持ち、コミュニケーションを図っている。 ・色々な利用者がいるため、1人1人とのコミュニケーションを大切に少しの変化も職員間で共有し、支援につながるよう努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・金銭的な問題になると、本人の思いに近づけないことがある。 ・本人からの要望に全て応えることは難しいことがある。 ・利用者が外出、外泊を希望しても、家族がすぐに受け入れることが出来ないことがある。 ・寡黙な利用者との関りの中で、どうしてほしいの気持ちを引き出すのが難しい。 ・声に出来ない利用者の声をなかなか聴くことが出来ない。 ・本人と家族の考え方が違う場合、どうしていいかわからないことがある。 ・本人の求める本当のゴールが分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
寡黙な利用者や、悲観的に過ごしている利用者とは会話する時間を確保する。 会話する時間とは、介護援助のための言葉かけではなく、一人一人の利用者の思いを丁寧に掬いとり、本人の思いを拾い上げることを意識し、支援につなげていく時間とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 2月 26日(14:30 ~ 15:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	石原、小幡、田久、根本、関根

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	6 人	6 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画

日常生活の中でも、排便は日々の身体及び精神面に大きく影響するが、すぐに薬剤耐性がつきやすいためコントロールが難しい。特に薬剤を利用している利用者を中心に職員間で情報共有を行い、なるべく早期に解決できるよう引き続き努めていく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

日常生活の中でも、特に難しい排便コントロールについて計画を立てた。ひとりひとりの利用者において、薬剤の種類や使用間隔を調整することで、おおむね順調に推移した。今後も継続して取り組んでいく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか？	1	6	7		14
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	8			14
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	9	2		14
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	7	1		14
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	8	2		14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・宿泊者が多く、ほぼ24時間介護しているため、利用者の日常は共有し対応できている。
- ・看護師を中心に医師とも相談しながら、利用者に向けた排便管理を行っている。
- ・利用者の行動を観察し、いつもと違う点を速やかに発見し、対応するよう努めている。
- ・利用者の安全を守っていくために、日々の関わりを記録し、その変化に気づき支援している。
- ・体調は命に関わるので、送り等職員同士共有し、体調の変化に気づいた時は利用者本人に声かけして確認している。
- ・日々の利用者との関わりの中で、体調及び気持ちの変化はすぐに気づくことが出来ている。
- ・利用者の立場になって、安全、安心に過ごされるように努めている。
- ・体調の変化、気持ちを職員同士で共有し、それに合わせた介護をしている。
- ・その時の体調に合わせて看護師と連携し、適したケアが出来ている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・風邪等の初期対応が遅れることがある。(医療連携)
- ・即時的な支援が難しい。
- ・自宅での生活環境、以前の暮らし方については、まだ引き出せていない面がある。
- ・特に通いの利用者に対しては、自立されている方が多いため、通所の方ではとくに問題を感じないことから、本人も自宅での困りごとの自覚がなく、発言を聴くことはまれである。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

本人の現在の生活を理解するため、通所でのコミュニケーションの中で、意図的に「以前の暮らし方」に焦点を当てた問いかけを行い、職員間で共有する。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 2月 27日(14:30 ~ 15:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	石原、斎藤、小幡、田久、菅波恵

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑥	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	2 人	3 人	14 人

前回の改善計画	訪問を通して、利用者の日常生活を知り、家族・地域のつながりを維持するよう支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員間の情報共有により、生活スタイル、人間関係等を把握し、家族との間を取り持つように心がけている。特に家族間の関係を円滑に保てるような関わりができたと思う。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	3	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	3	2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	4	3	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	9	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の生活スタイルや人間関係を理解しようと努めている。 ・情報共有により、生活スタイル、人間関係等を把握し、家族との間を取り持つように心がけている。 ・利用者本人との日常会話を通して、生活スタイルを探っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等のことはあまり分からない。 ・利用者からは、以前は参加していた行事も、体力低下によって難しくなっているとの声も聴かれる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者本人や家族が地域のつながりを保つため、地域の世話役等と情報共有する。得られた情報から、地域で困っている方にも声をかけ、地域のつながりの輪を広げる。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 2月 28日(14:30 ~ 15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	石原、小幡、田久、根本、関根

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	3 人	7 人	2 人	14 人

前回の改善計画	一時帰宅や外泊を実現するために、自事業所だけでなく、地域の資源を使って支援するために何が必要か職員間で話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	現状、本人や家族のニーズに応じて、通い・訪問・宿泊ができている。利用者が増加した際にも、ニーズに応じて関われるように環境を整えていく必要がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		4	6	4	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	8	1		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	7		1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	9	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人のニーズに合った支援又はその家族の要望に応え、柔軟な支援ができている。 ・本人は医療面が大きく生活に関わっており、医療連携では、地域の資源を使って支援できている。 ・本人や家族の要望に合わせて介護をしようと意識している。 ・本人や家族のニーズに応じて、通い・訪問・宿泊が出来ている。 ・本人、家族からその時の様子等気づいたところがあれば、その都度職員間で話し合い、本人のサポートに適したケアが出来る体制を取っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の社会資源について、知識が不足している。 ・利用者の安全面を考慮しているため、常に社会資源を活用することは難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
他の施設との比較などを通じて、小規模多機能居宅介護施設の利用の利点などについて、職員間で話し合い共有する。 地域資源のひとつとして当施設の具体的な利用の仕方を、地域の方々に積極的に提案、周知する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 3月 7日(14:30 ~ 15:00)
6. 連携・協働	メンバー	石原、根本、有坂、関根

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画	コロナが5類に移行したことで、地域の行事等には従来よりも積極的に参加したいと考えているが、高齢者施設であるため、安全面を考慮し、慎重に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域行事に私的に参加した職員は、施設内への感染防止の観点から適切に連絡、情報共有した。利用者の感染防止に十分気を付けつつ、地域資源の利用の観点からも、利用者の地域行事への参加を検討した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		4	2	8	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	1	11	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	2	10	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	11	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会議に出席した職員からの報告、資料等の情報は全職員で共有している。 ・地域活動、イベントに個人で参加した職員から情報を得ている。 ・自分は個人的に地域の行事に参加している。 ・福祉用具等で業者との意見交換が来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・参加するイベントがなかったり、いつ行っているかわからないため、地域との関わりはあまりしていない。 ・福祉用具を利用する際のアドバイスは受けるが、一般社員は会議には参加していない。 ・様々な感染症が流行しているため安全面を考えて、地域の行事等には参加していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域のイベント・行事の情報を積極的、意識的に収集し、職場内で共有する。 利用者の健康保護、感染防止にも十分配慮しながら、利用者の地域行事への参加につなげていく。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 3月 10日(14:30 ~ 15:00)
7. 運営	メンバー	石原、根本、小幡、田久、関根

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	7 人	3 人	人	14 人

前回の改善計画	運営推進会議(利用者家族会)の開催により、得られた情報(地域の情報)を利用者や、家族のニーズと照らし合わせ、支援に生かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議の情報は朝会、部会等で職員と共有している。職員は朝会や部会の機会や、日々の業務の中で、より良い介護を提供するために感じたこと、考えたことをその都度伝え合っている。 家族からのリクエストや苦情が伝わった時点で職員間で話し合いが行われることから、職員は常に改善プロセスに積極的に関わっていたと言える。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4	9		1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	10	1	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	2	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	3	4	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- より手厚い介護を提供できる地域密着型の事業所であるために職員として感じたことは伝えている。 - 意見や苦情は出た時点で、話し合い、改善するように努めている。 - 利用者、家族から意見、苦情を聴き、職員間で共有し、支援に生かしている。 - 職員同士で意見を出し合っているし、その土壌がある。 - 意見や苦情を聴いた際は、管理者や他の職員に伝えると同時に、職員として意見を言うことができています。 - 利用者、家族から得られた情報は、できる限り利用者の生活に生かせるように話し合っている。 - 自宅や施設で不安を感じていることを聴き、それについて帰結できるように支援している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域とのかかわりの機会が少ない。 - 本人、家族、介護者の声を聴き、職場内で話し合った経験を、地域と語り合う機会が少ない。 - 利用者の安全面を最優先に考えているため、交流は限られてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者、家族からのリクエストや苦情等については、伝聞や噂ではなく、事実に基づく議論を行うために、直接受けた職員が管理者に正確に伝える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 3月 13日(14:30 ~ 15:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	石原、斎藤、菅波さ、田久、有坂

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	2 人	5 人	1 人	14 人

前回の改善計画	介護関連のインターネットの動画等をお互いに紹介、共有することで、職員の研鑽、意見交換を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	インターネット動画などを積極的に活用することで前年度に比べ取り組みを改善できた。研修内容を利用者への関わりに生かし、個別の支援や気づいた事を職員間で共有した。現場での実践的なニーズに基づいた問題解決に取り組むことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	2	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	4	3	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	2	10	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	2	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・前年度に比べると取り組んでいる。 ・動画等で職場内研修に参加した。 ・介助等で疑問点がある時は、その都度、意見交換している。 ・利用者に関わった上で、個別の支援や気づいた事は職員間で共有しながら実施している(職場研修) ・職場内研修に参加し、スキルアップに努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者に関する問題点、解決策は話し合うことが出来ているが、職員同士注意し合うことについて難しさを感じる。 ・スキルアップに繋がる研修が何なのか分からない。 ・地域連絡会への参加 ・職場外の研修 ・ZOOM等で研修参加したが、まだまだ学ぶことがあると感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者が快適で穏やかに生活できるように、引き続き動画研修などを活用して、職員の技術面・心理面のスキルを向上していく。 職員が改善すべき事項については、個人的な非難や批判と捉えることなく、お互いに刺激し合い、高め合い、協力し合える環境を職員皆で話し合い、整え、実践していく。 同時に、職員個人の成果や努力に、感謝や賞賛を伝え合う場を用意するなど、褒める文化の醸成を進める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年 3月 14日(14:30 ~ 15:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	石原、根本、菅波さ、田久、関根

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	3 人	人	14 人

前回の改善計画
見守りを行いながらのミーティングを行っているため、配慮が必要な情報については、レベル分けをし、口頭で伝えてもいいこと、声に出さずに筆談・連絡ノート等を利用することに分けて情報共有に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングはおおむね穏やかに進むことが多いが、時に、議論が白熱し、声が大きくなってしまいうこともあった。口頭で伝えてよい情報かどうか意識する前に発言してしまっている現状もある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	13	1			14
② 虐待は行われていない	14				14
③ プライバシーが守られている	11	3			14
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	1	2	8	14
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	7	6	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・人権、プライバシーに関して適切に対応できている。 ・常に安全面を優先し安心して生活できるように心がけている。 ・命に関わる危険性のある利用者のいないため、拘束する必要がない。 ・外に出てしまう利用者には一緒に行動を伴にし、見守っている。 ・穏やかで適正な介護が出来ていると考える。 ・本人の気持ちに寄り添い見守りができている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度を活用している方がいない。 ・出来る限りの配慮はしているが、入所施設ではないためプライベート空間を常に設けることは難しい。 ・見守りしながらのミーティングとなっているため、利用者に話し合いの内容が聞こえる事もある。 ・ミーティングの議論が白熱し、声が大きくなってしまいうこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
朝会を短時間の研修の機会と捉え、以下を実施する。 利用者が聞いていても不愉快に感じさせないミーティングの工夫をする。(言葉の言い換えの訓練) 毎日の朝会等を通じて誰が聞いても心地良い会話の仕方を皆で心がけ実践する。(接遇マナーの訓練) 朝会の最後には、職員一人ひとりが考えた「笑顔になれる決め言葉」を共有し、ミーティングを締める。	